

第2回 就労選択支援事業ワーキンググループ

8月25日に就労選択支援事業の第2回のワーキンググループを開催しました。今回は、事業申請を検討している11事業所が集まり、現在把握できている利用見込み数の共有や各事業所の準備段階を確認しました。具体的に検討すればするほど疑問が増えている状況とのことですが、地域への必要性を感じ検討に入る事業所が数件でできました。

開催報告

ワーキンググループ① テーマ

「開始時期と実施方法について」

参加者…就労選択支援事業を申請予定の市内5事業所

- ・現在の話し合いが入り口にフォーカスされているが、出口を見ていかないと直Bの二の舞になるのでは
- ・この制度が機能すると地域全体の就労支援の質につながる
- ・通所、訪問などアセスメント場所の希望によっては対応が難しい場合がある
- ・JEEDのアセスメント表を利用する予定だが、つける指標や結果を示す共通様式があるとよい

ワーキンググループ② テーマ

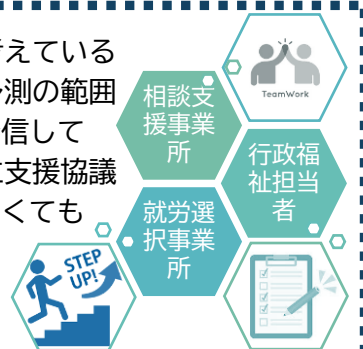
「実施要件の確認と町村部の課題」

参加者…申請要件をクリアできる予定の町村の5事業所

- ・法人の事業所がエリアをまたいで運営している場合、事業所の合算で就職要件を考えられるのか
- ・申請要件が町村で緩和されなければ手があげられない
- ・就労継続支援事業を利用したい人が使えない地域では困るので、自法人での検討を始めた
- ・就職の要件について、同一法人への就職が実績に入るのか、また、就職と判断する証明などは必要か

開始まで1か月を切り、具体的な相談が進み始めています。就労選択支援を考えている事業所としては、利用申請が始まると対応方法が見えて来ますが、現状では予測の範囲です。また、利用を考えている側としては、事業所が『やります』と地域に発信してくれなければ相談を始めることもできません。8月から9月にかけて町村の自立支援協議会で就労選択支援事業の説明を行っていますが、今のままではB型を利用したくても利用できない状況になってしまうことを懸念する声が多く聞かれます。

1市3町には1件でも多い事業所が立ち上がることを、町村には指定要件緩和がどの程度考えられるかが課題となっています。



研修のご案内

地域就労支援連絡会

令和7年10月
新制度開始

就労選択支援 Startup セミナー 起動

2025年

9月11日

木

13:30~16:00

会場：帯広畜産大学 講堂
参加費：無料

第1部 実践報告

13:30~14:15

相談支援と共同した地域へのアプローチについて

講師：社会福祉法人 後志報恩会

小樽地域障がい者相談支援センターさぼーとひろば

支援係長 加納 太晃 氏

14:15~15:00

就労支援機関と考える就労アセスメントの実施

講師：社会福祉法人 はるにれの里

石狩障がい者就業・生活支援センターのいける

センター長 吉田 志信 氏

NEXT

今後の展開について

第3回 就労選択ワーキンググループ 開催のお知らせ

日時：令和7年9月18日
16:00~17:30

場所：ソネビル 1階

内容：アセスメントシートの活用について

アセスメントの質を保つため、地域の共通様式と、評価の仕方を検討します

今後の活動

帯広市では10月から就労選択支援事業がスタートすることが確定しています。

始まった中で出てくる課題を集約しつつ、10月中に第4回ワーキンググループを行います